

4 生涯学習の支援システムの充実

府民の学習活動は多様であり、その内容、水準、方法などは様々です。府民がいきいきと学習活動を展開していけるよう、学習情報の提供や学習相談など、関係機関は相互に連携して府民の学習活動を多方面から支援していく必要があります。

(1) 府民への学習支援の充実 (生涯学習ガイドの充実)

府民の学習への意欲を高め、自発性をはぐくみ、学習による自己実現や充実感の向上へとつなげていくため、取組を支援していくための普及パンフレットや各種の生涯学習の取組方などを説明した生涯学習ガイドブック等を作成し、普及活動の充実を図ります。

(2) 学習情報の提供と相談体制等の整備

府民が、自主的、自発的に学習に取り組むために必要な情報を、手軽に入手できるよう、京都府及び市町村、文化・学習施設、大学・短期大学等の各種の講座等の連携により、催し物や学習施設、人材、資格等に関する情報を収集・提供する生涯学習情報ネットワークシステムを整備し、総合的、体系的な情報提供体制の整備を図ります。

特に、全国に向けて、京都の観光、歳事、イベント等についての情報発信に努めます。

(「京都生涯学習情報ネット」交流発信型ネットワークの整備)

生涯学習に関する情報を速やかに収集、整理するため、京都府はホストコンピュータを整備するとともに、市町村や関係機関、施設等の端末機器との通信網の整備を促進します。

収集蓄積された生涯学習情報は、パソコン通信により府民が直接情報を入手できるとともに、市町村等の学習相談窓口において府民に情報が提供されるよう体制の整備を促進します。

(生涯学習情報紙誌の充実)

生涯学習情報紙誌により市町村、関係団体等に情報を提供するとともに、他の雑誌、パソコン通信等様々な情報媒体を通じて府内ばかりでなく全国への情報発信を目指します。

(3) 地域における生涯学習活動やボランティアの充実

生涯学習関連施設や各地域で学ぶ学習者の相互交流や学習活動が一層進むように、生涯学習に関する機関や団体等の相互連携・協力を得ながら、地域における学習者の相互交流・支援の促進を図ります。

(学習サークルと生涯学習ボランティアへの支援)

学習を通じた相互交流や学習の輪が一層広がるよう、府民の自主的なサークル活動を支援します。また、一人ひとりが経験や専門的知識、能力に応じてボランティア活動に参加でき、学習の成果が地域社会に還元されるよう、生涯学習ボランティアの養成と普及を図り、ボランティア活動への参加を促進します。

(福祉ボランティアの振興)

府民がいつでも、気軽に、楽しく福祉ボランティアに参加できるよう、幅広い福祉ボランティア情報の発信・提供を行うとともに、児童・生徒を対象とする福祉学習や福祉ボランティア体験事業などの多面的な啓発事業を展開します。また、市町村社会福祉協議会におけるボランティアセンター機能の強化・充実や京都府社会福祉協議会に設置されている京都ボランティアバンク基金によるボランティアグループへの支援など福祉ボランティア活動の基盤づくりを進めます。

(家庭での学習支援)

介護の必要な人や、活動することが困難な障害のある人などについても、家庭で生涯学習が行えるよう、各種学習資料やホームビデオ、ケーブルテレビ等の利用を促進するとともに、ボランティアによる学習支援を促進します。

5 生涯学習関連施設の整備

府民が身近なところで、気軽に学習活動が行えるようにするためには、既存の施設を生涯学習の観点から活用するとともに、分散的な施設整備に配慮しながら、学習内容の多様化・高度化に対応した環境を整備していく必要があります。

(1) 生涯学習関連施設の体系的整備

(学習活動の場の整備)

明るく生きがいのある長寿社会の実現を目指して、高齢者が長い人生で培った知識や技術を社会に活かすとともに、高齢者と青少年との多世代にわたる交流を促進することのできる新しいタイプの保健・保養の場として、「マスタースピレツジ」を京都府北部、中部に整備します。

京都府と大山崎町、企業が協力して、天王山周辺の自然環境と景観、歴史・文化などの資源を活用し、府民が自然、歴史・文化・芸術に親しむとともに、創造・交流できる活動の場として大山崎山荘及びその周辺一帯を整備し、京都の文化の振興に寄与します。

府立ゼミナールハウス、府立植物園などの府立の施設については、京都の歴史・文化・芸術などの各種生涯学習の中心となる施設として、各種事業の充実に努めます。